



## ■第 28 回聖路加看護学会学術大会のご案内

## テーマ 「Working Together:協働を探究する」



大会長:吉田 千文(常磐大学)

第 28 回聖路加看護学会学術大会「Working Together:協働を探究する」を 2023 年 9 月 18 日(月)から開催いたします。

オンライン開催のメリットを生かして多様な学問領域から特別講演 8 題、協働を生み出す先駆的な教育・実践の取組についてシンポジウム、そして協働の問題として身体抑制を取り上げ識者によるパネルディスカッションを行います。

できるだけ双方向で意見交換ができるよう工夫しました。また演題賞も設けています。皆様の日頃のご研究,実践活動を発表する場として、新しい知見を得る場として、事例や活動をもとにディスカッションする場としてご参加いただけますようご案内申し上げます。

## 開催日時・配信スケジュール

会 期:2023 年 9 月 18 日(月)~10 月 23 日(月)

## 開催方法:オンライン

ライブプログラム配信日 9 月 18 日(月)

オンデマンド配信 9 月 18 日(月)~10 月 23 日(月)

## 参加募集・登録:

2023 年 3 月 6 日(月)~10 月 10 日(火)17 時まで

## 演題募集・登録:

2023 年 3 月 6 日(月)~6 月 16 日(金)

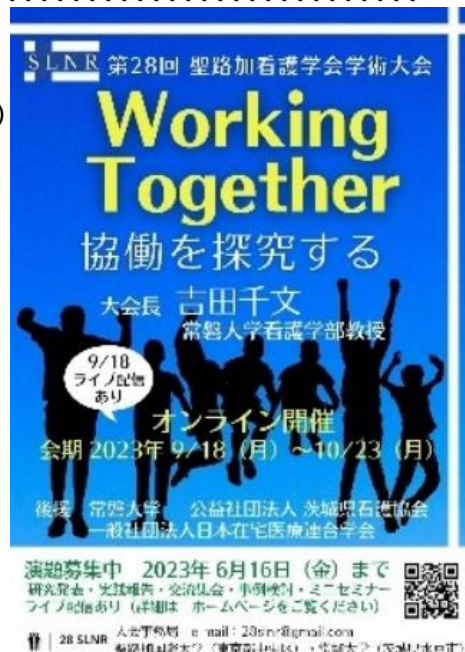
- ・一般演題(口演・示説) 卒業研究等の発表も可能
- ・交流集会、事例検討会、ミニレクチャー

第 28 回聖路加看護学会学術大会事務局(担当 奥、相澤)

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 E-Mail:28slnr@gmail.com

詳細はホームページ(URL: <https://supportoffice.jp/slur28/>)

後援:常磐大学、公益社団法人茨城県看護協会、日本在宅医療連合学会





## プログラムの一部を紹介

大会長講演：協働が生まれる、協働をうみだす（オンデマンド配信）

吉田千文（学術大会長・常磐大学） 座長 野崎真奈美（順天堂大学教授）

### 特別講演（オンデマンド配信）

- ・特別講演1：学際的チーム：効果的なチームとは？

亀井智子（聖路加国際大学教授） 座長 飯岡由紀子（埼玉県立大学教授）

- ・特別講演2：協働の基盤となる信頼・共感について－倫理の視点から－

手島恵（千葉大学教授） 座長 有森直子（新潟大学教授）

- ・特別講演3：国際人口移動と国連の活動

富田敬子（常磐大学学長） 座長 水谷真由美（三重大学准教授）

- ・特別講演4：平和に向けた地球規模での協働

渡部茂己（中央大学講師・前常磐大学副学長） 座長 大田えりか（聖路加国際大学教授）

- ・特別講演5：聖路加の協働はいかにして生み出されるのか

石松伸一（聖路加国際病院院長） 座長 柳澤八重子（聖路加国際病院ナースマネジャー）

- ・特別講演6：急性期病院のエスノグラフィー：看護師の協働はいかにして生み出されるか

前田泰樹（立教大学教授） 座長 秋元典子（甲南女子大学学長）

- ・特別講演7：市民が作る協働を歴史から見る－戦国の村人の自治と協働

清水克行（明治大学教授） 座長 麻原きよみ（聖路加国際大学教授）

- ・特別講演8：国際協力の現場から世界をつなぐ利他的リーダーシップ

－国境を越えて感動を生み、社会問題を解決するビジネスモデル

吉田拓（日本赤十字社ルワンダ現地代表部首席代表） 座長 岡美雪（聖路加国際大学准教授）

### シンポジウム（ライブ配信）

#### □「地域包括ケアにおける協働－市民や多職種と協働したチームに関わる教育・実践」

座長：川上千春（聖路加国際大学准教授）

浅田美和（聖路加国際病院ナースマネジャー）

シンポジスト：中川泉（常磐大学教授）

菊田文夫（聖路加国際大学准教授）

阿部智子（訪問看護ステーションけせら統括所長）

岡村大介（聖路加国際病院リハビリテーション科マネジャー）

#### □パネルディスカッション：「身体拘束～尊厳と安全をどう守るか？～」

座長：山田雅子（聖路加国際大学教授）

奥裕美（聖路加国際大学教授）

パネラー：石田昌宏（参議院議員）

堀内園子（認知症対応型グループホームせせらぎ施設長）

井部俊子（聖路加国際大学名誉教授）



28 SLNR

## 祝！第49回フローレンス・ナイチンゲール記章受賞！

### 名誉会員 今村節子氏

フローレンス・ナイチンゲール記章は、顕著な功績のある世界各国の看護師を顕彰し授与以来、本年の第49回までに計115名の日本の看護師がフローレンス・ナイチンゲール記章を受章しています。

授与される記章（メダル）には、燭（ともしび）を手にしたナイチンゲールの像とともに、ラテン語で「博愛の功徳を顕揚し、これを永遠に世界に伝える」と刻まれます。（日本赤十字社 HP より）



創立20周年記念祝賀会(2015.9.19)では乾杯のご発声をいただきました

[ニュースレター37号](#)に、ご挨拶内容（下記）が掲載されております

#### ニュースレターNo.37（2015年11月24日発行）3面より

名誉会員の今村節子氏からは、乾杯のご発声を賜りました。第二次世界大戦後の日本の看護教育、看護行政の創成に貢献した大先輩である今村氏は、当時から今まで常に実践に立脚した看護を追求する「聖路加の看護」が、戦後70年、学会創立20年を経て統合されつつあり、科学的に実証されてきていると感じると述べられました。さらに「教育と実践のハーモニー」という第20回聖路加看護学会学術大会のテーマに触れ、実践に裏付けられた聖路加の看護の進展を、これからも見守っていききたいと述べられました。



## ■2022 年度学術交流集会報告

2023 年 3 月 5 日(日) 13-15 時、聖路加国際大学日野原ホールと zoom のハイブリッドで学術交流会を開催しました。

テーマを「しあわせに働くー心理的安全性を高めるためにみんなですることー」とし、チーム力開発研究所理事の青島未佳先生にご講演いただきました。

会場 13 名、オンライン 134 名の計 147 名(会員 29 名/非会員 118 名)、看護職以外の方を含む多くの方々にご参加いただき、「心理的安全」というテーマへの関心の高さを改めて確認しました。

参加者アンケートでは、わかりやすい講演で心理的安全性についての理解が深まったこと、現場の心理的安全性の高めの方の示唆をえられたことが評価されており、講演自体が非常に満足度の高いものであったことはもちろんのこと、参加者と講師の質疑応答や対話の時間をとることにより、講演会でなく、交流会とすることができました。

また、高度実践看護開発検討委員会とのリレー企画にしたことで、聖路加看護学会として一体感を持った集会を開催できました。これからも、学術交流の促進に向けた活動を企画してまいります。

(学術交流委員会:佐藤直子、鈴木美穂、松本文奈)



青島未佳先生を交えて記念撮影

## ■実践科学研究助成基金 2023 年度「研究助成」採択結果

「看護実践科学研究の推進を目指し、看護実践の向上と看護学の発展に寄与すること」を目的とした「一般社団法人聖路加看護学会看護実践科学研究助成基金制度」による2023 年度研究助成に複数の方からのご応募をいただきました。ありがとうございます。選考委員会の審査を経て、以下の 2 名の方が採択されましたのでご報告いたします。

### 一般社団法人聖路加看護学会

#### 看護実践科学研究助成基金 2023 年度「研究助成」採択者

■代表者名: 永井智子

研究課題名: 第 2 子出産における母親の育児状況の変化と困難:産後 1 年間に焦点をあてて

■代表者名: 射場典子

研究課題名: 大学が地域に開いた市民主導の健康生成をめざす健康情報サービス事業の発展過程と課題

(学術交流委員会:高橋奈津子、青木美紀子、大森祥乃)

## 【広報委員会からのお知らせ】

2022 年度の学部卒業生・大学院修了生、また 2023 年度の入学生・入職者の皆様に、祝意をお届けするとともに、本学会入会案内を配布させていただきました。

聖路加でつながる、新たな実践と学びに励まれる皆様に、看護領域に限らない幅広い実践と研究について語り合い、自己を研鑽の場として、本学会をご活用いただければと願っております。

本学会に関心を寄せる会員が集うオープンな学術ネットワークです。

ぜひ、ご入会ください!!

(広報委員会一同)

SLNR 一般社団法人 聖路加看護学会  
St. Luke's Society for Nursing Research

大学 卒業生・修了生の皆様

#### 聖路加看護学会へのお誘い



ご卒業・ご修了おめでとうございます。  
聖路加で学んだ日々は、長かったでしょうか。それとも、短かったでしょうか。  
皆様の学びや経験が、今後の看護実践や教育・研究活動につながることを祈っています。

ご卒業・ご修了にあたり、聖路加看護学会への入会を呼びかけます。

本学会は、とくに看護実践を重視し、看護実践の質の向上と看護学の発展に貢献することを目的として活動しています。聖路加という名称ですが、会員は聖路加に関係する人だけではありません。学会の目的に賛同され、看護実践、看護教育、看護学の研究に携わる方はどなたでも入会することができます。

聖路加の教員も、学会活動において様々な役割を担っております。皆様の学びを継続するために、ぜひ入会をご検討いただきたいと思います。

内閣府認定  
内閣府認定  
理事長です!

#### 学術交流委員会助成金制度:

本学会は、とくに看護実践を重視し、看護実践の質の向上と看護学の発展に貢献することを目的として活動しています。聖路加という名称ですが、会員は聖路加に関係する人だけではありません。学会の目的に賛同され、看護実践、看護教育、看護学の研究に携わる方はどなたでも入会することができます。

#### 広報委員会:

本学会は、とくに看護実践を重視し、看護実践の質の向上と看護学の発展に貢献することを目的として活動しています。聖路加という名称ですが、会員は聖路加に関係する人だけではありません。学会の目的に賛同され、看護実践、看護教育、看護学の研究に携わる方はどなたでも入会することができます。

学会については、ぜひホームページをご覧ください。

皆様の学びを継続するために、ぜひ入会をご検討いただきたいと思います。

聖路加看護学会 HP

<http://slnr.or.jp>

2023. 3. 10. 聖路加看護学会広報委員会

## ■ 会員からのメッセージ

村松純子さん (BABY in ME® 代表)

2007 年 4 月に入会し、数少ない一般市民として末席に身を置かせていただいています。門外漢である私の入会のきっかけは、本業のライター業と並行して行っている『BABY in ME®』です。

'99 年にマタニティマークの先駆けとしてスタートして間もなく堀内先生に面識を得て応援や監修をいただくなかで、未就学児にからだの知識を伝える COE II『自分のからだを知ろう』プロジェクト(当時)に出会いました。

「妊婦さんを含めた他者への気づかいも、自分の身体を大事にする意識あってこそ。身体の知識は、その出発点」と考えて早速プロジェクトに参加。やがて、聖路加看護学会にも入会しました。それから 15 年! プロジェクトは『からだ教育研究会』と名前を変え、研究会から『NPO からだフシギ』も発足して活動を続けています。



村松さんデザインのマタニティマーク



「NPO からだフシギ」の歌と踊りも YouTube で配信中



『わたしのからだ』全8冊



NPO からだフシギ



BABY in ME®

私にとって聖路加看護学会は、看護学の世界への窓のような存在です。学会誌はじめ学会から発信されるさまざまな情報を通して、学外の私でも「看護学の今」を垣間見ることができます。所属する『からだ教育研究会』や『NPO からだフシギ』の活動において、この学会が大切な発表の場であることは、いうまでもありません。

『NPO からだフシギ』も『BABY in ME®』もみなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【学会誌編集委員会からのお知らせ】

学会ホームページに、学会誌第 25 巻、26 巻の査読者一覧を掲載しました。

学術誌編集委員会では、査読の迅速化に向けて取り組んでいます。

本学会誌へのご投稿をお待ちしております。

(学会誌編集委員会: 有森直子、大坂和可子)



## ■ニュースレターの国会図書館デジタルコレクション

国立国会図書館デジタルコレクションに『聖路加看護学会ニュースレター』が所蔵されています。昨年 11 月、広報委員会は学会事務局を通じて 1 通のメールを受け取りました。

それは、“ニュースレターの URL が変わっていたので、今後は変更後のものを収集します”という内容です。差出人は、国立国会図書館でした。

国立国会図書館には、オンライン資料収集制度があります。これは、電子書籍・雑誌等を文化財として蓄積するため、国立国会図書館法に基づいて民間で出版された電子資料等を収集・保存している制度です。収集・保存資料は、一部を除きデータベース（下図）で検索できます。

聖路加看護学会も、2018 年 9 月にニュースレターの保存を申請しました。今回は、昨秋のホームページリニューアルに伴って URL が変わったことをシステムが自動で検知し、担当者の方がご連絡を下さったというわけです。

改めて、聖路加看護学会のニュースレターが、将来にわたっての活用が期待される文化財の一つとして国立国会図書館に保存されていることに、背筋が伸びる思いを抱いています。

（広報委員会：瀬戸山陽子）



国立国会図書館デジタルコレクションのページ  
<https://dl.ndl.go.jp/ja/>

## 【選挙管理委員会からのお知らせ】

2023 年度は2つの選挙の年です。2024 年 6 月の評議員および理事・監事の任期満了に伴い、定款および評議員・役員選挙規程に基づき、選挙を行います。

評議員選挙を 9 月に実施します。また、選出された評議員から理事・監事を選出する役員選挙を 11 月に実施します。

選挙告示は、ホームページに掲載します。併せて選挙人となる会員の方へ郵送でお知らせします。登録のご所属やご住所を今一度ご確認ください、ご変更のある方は学会事務局までご連絡をお願いします。

引き続き、選挙へのご協力をお願いします。

（選挙管理委員会：高橋恵子、永井智子、西村恵理奈）



## 【庶務からのお知らせ】

新年度をむかえ、ご所属、メールアドレス、ご連絡先などが変更となった会員におかれましては、会員情報の変更を学会事務局までお知らせいただけますようお願いいたします。

会員情報変更手続きには、学会ホームページ「変更届フォーム」をぜひご利用ください。

<https://slnr.or.jp/change/>



新しい環境で活躍が始まった方も多い季節と存じます。新入会員をいつでも募集中ですので、周囲にご関心のある方がいらっしゃいましたらぜひお声掛けください。

今後とも学会運営にご協力をよろしくお願いいたします。

(担当：大久保暢子、西垣佳織、森田誠子)

## 【会計からのお知らせ】

4 月より 2023 年の会計年度となりました。2022 年度の会費納入率は 84.1%と、昨年度に引き続き向上していますが、会員数が減少傾向となっています。

会員の皆様には 2023 年度年会費振り込み票をお届けしておりますので、年会費納入がまだお済みでない方はお振込をお願いいたします。

学会の活動は皆様の会費により成り立っております。新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行し、社会生活も活発になってきております。学会の各事業もコロナ禍と比べて対面開催が増えることが予想されます。是非学会活動にご参加くださいますとともに、今後とも引き続き会費納入への皆様のご協力をお願いいたします。

(担当理事：平林優子、小林真朝)

## [編集後記]

本号では、会員の皆様に、大変、慶ばしい、心躍るお知らせを、多数お届けすることができました。コロナ禍も 4 年目となり、まだまだ“平時”とは言いがたいこの頃ですが、コロナ禍で発見したことも活かしながら、生活や実践・学びに活気を取り戻したいと思いました。

(海老原樹恵 佐居由美 大橋久美子 賀数勝太 瀬戸山陽子 竹森志穂 松尾尚美)

ニュースレター発行や様々な情報をメーリングリストでお伝えします。

メールアドレスが変更された場合は、  
変更届フォームにて、<https://slnr.or.jp/change/>  
学会事務局までご連絡ください



変更届フォーム

一般社団法人 聖路加看護学会ニュースレター No.61

▶ 発行：2023 年 5 月 31 日

▶ 編集：広報委員会

(佐居由美 海老原樹恵 大橋久美子 賀数勝太 瀬戸山陽子 竹森志穂 松尾尚美)

▶ 連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学内

[学会ホームページ] <https://slnr.or.jp/>